

■アンケートの質問設定の考え方

総合計画作成に向けて把握すべき項目	項目のねらい	過年度のアンケートでの実施状況		アンケートの質問内容（案）	
		市民意識調査（H16.6 実施）	市民満足度調査（H29.9 実施）	市民アンケート調査	中学生向けアンケート調査
市の現況（強み・弱み）及び課題	データ等で把握するとのできない市民の考える市の魅力や課題等の把握	<ul style="list-style-type: none"> 市の魅力（問 2） 自慢できるもの、誇りに思うこと（問 3） 定住意向（質問 19-Q6） 住み続けたい理由（質問 19-Q7） 住み続けたくない理由（質問 19-Q8） 	—	<p>問 1 市の魅力 ※市民意識調査の設問内容を踏襲（選択肢の追加 H16 調査と比較）</p> <p>※設問項目としない（「問 1 市民の魅力」の結果を活用）</p> <p>※設問項目としない（満足度調査結果を活用、H16 調査と比較）</p>	<p>問 1 市の魅力 ※設問項目としない（「問 1 市民の魅力」の結果を活用）</p> <p>問 2-1 定住意向 問 2-2 住み続けたい理由 問 2-3 住み続けたくない理由 ※市民満足度調査をベースに表現を修正</p>
市のめざすべき姿とその実現のために取組むべき項目	都市像、基本姿勢、基本方向の検討のため、市としてめざすべき方向性について市民が重要と考える事項を把握	<ul style="list-style-type: none"> 都市像に対するアイデア（問 12） 市のめざすべき方向性（問 11） 	—	<p>問 2 都市像の認知度 ※現在の都市像の認知度の把握</p> <p>問 3-1 広域的な視点からの京田辺市の役割 ※新名神開通や北陸新幹線等、市を取り巻く状況が変化しているため、広域的な視点から本市の位置づけに関する市民の考えの把握に関する項目を追加</p> <p>問 3-2 市のめざすべき方向性（H16 調査と比較）</p>	<p>— 問 3 市のめざすべき方向性 ※市民アンケート調査票をベースに表現を修正</p>
現在取組んでいる施策に対する市民の意識	施策の効果の把握及び、今後重点的に取組むべき施策の把握	<ul style="list-style-type: none"> 第 2 次総計で位置付けられる施策について市民の評価及び満足度を把握（問 5,6） 	<ul style="list-style-type: none"> 各施策分野についてこれまでの取組状況を提示の上、重要度・満足度を把握（質問 1～16） 	※設問項目としない（満足度調査結果を活用）	—
重点プロジェクトに対する市民の意識	重点プロジェクトの見直しの際に重視すべき事項の把握	—	—	<p>問 4 重点プロジェクトに対する満足度・重要度 ※重点プロジェクトの 5 つの柱について、取組内容を示した上で、満足度・重要度を把握（前回調査時（H16.6）は重点プロジェクトの考え方がなかったため新設）</p>	—
今後重点的に取り組むべき事項	今後実施すべき事業の把握	<ul style="list-style-type: none"> 今後優先的に進めるべき施策（問 13） 個別課題に対する考え方（問 14～20） 土地利用、シビックゾーンの果たすべき機能、高齢社会対策、子育て支援、環境問題、大学との連携、生涯学習の振興 	—	※設問項目としない（問 4 の結果を活用）	—
協働によるまちづくりに対する市民の意識	市民参画などの協働によるまちづくりに対する意識の変化及び協働に関して今後注力すべき項目の把握	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ活動への参加経験（問 7） コミュニティ活動促進に必要な取組（問 8） 	—	<p>問 5 市民活動などへの参加経験（H16 調査と比較） ※市民意識調査の設問内容を踏襲（選択肢を追加）するとともに、今後特に関わりたいと考える市民活動などの把握に関する項目を追加</p> <p>※設問項目としない（現状おおむね把握し実施している項目であるため、今回は設定する必要性が低いと判断）</p>	—
行政サービスに対する市民の意向	厳しさを増す市の財政状況を踏まえ、今後の行政サービスや行政改革に対する市民の意向を把握	<ul style="list-style-type: none"> 市民と行政の協力関係について（問 9） 行政サービスと市民の負担に対する考え方（問 10） 	—	<p>問 6 行政サービスに対する考え方 ※市民の考える民間活力の必要性の把握等に関する項目に変更</p> <p>問 7 行政改革について ※市民の考える行政改革の内容を把握</p>	—
行政による情報発信の効果	行政による情報発信のあり方に関する検討に反映	—	<ul style="list-style-type: none"> 行政情報に関する広報（質問 17） 	※設問項目としない（満足度調査結果を活用）	—
人口減少社会の中で必要とされる施策	人口減少社会の中で市に必要とされる施策について市民の考えを把握	—	—	<p>問 8 人口減少社会の中で市に必要とされる施策を自由提案 ※前回調査時から社会潮流が変化しているため追加（H20～全国的に人口減少局面）</p>	—
まちづくり全般に関する意向	次期総合計画の作成の参考	<ul style="list-style-type: none"> 魅力あるまちづくりに向けての自由提案（問 番号なし） 	<ul style="list-style-type: none"> 今後のまちづくり（限られた財源や人材の活用、地域特性を生かした独自の取組）に関する自由提案（質問 18） 	<p>問 9 魅力あるまちづくりに向けての自由提案 ※市民意識調査の設問内容を踏襲</p>	<p>問 4 京田辺市の未来やこらからのまちづくりについて自由提案</p>
回答者の属性	各質問の詳細な分析（クロス集計）に使用	<ul style="list-style-type: none"> 定住年数（問 1） 性別（問 21） 年齢（問 22） 職業（問 23） 居住地域（問 24） 	<ul style="list-style-type: none"> 性別（質問 19-Q1） 年齢（質問 19-Q2） 職業（質問 19-Q3） 定住年数（質問 19-Q4） 居住地域（質問 19-Q5） 	<p>問 10 定住年数 問 11 転入理由 ※京田辺市への転入理由及び京田辺市を選んだ理由について把握</p> <p>問 12 性別 問 13 年齢 問 14 居住地域 ※職業は、分析の必要性が低いため設問項目としない</p>	<p>問 5 性別 問 6 居住地域 ※市民アンケート調査票をベースに表現を修正</p>